

2022 年度 金融相談等活動助成報告会の開催

ゆうちょ財団主催の「2022 年度 金融相談等活動助成報告会」が、2022 年 10 月 21 日（金）にアルカディア市ヶ谷（東京・千代田区）で開催され、活動助成事業の対象である NPO 法人等の代表者など、多くの方にお集まりいただきました。

金融相談等活動助成報告会は、ゆうちょ財団の金融相談等活動助成事業の助成を受けて実施している活動報告を通して、多くの皆様に事業内容を理解していただくとともに、同様の活動を実施している団体間の交流やコミュニケーションを深めることを目的として開催しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2020 年度は「中止」、2021 年度は「オンライン配信」による開催でしたので、会場での開催は 3 年振りとなりました。

第 1 部の「活動報告会」は、例年だと「優秀活動賞」の受賞団体から「活動報告」をしていただいているのですが、各団体が本来の活動を行えなかったケースもあり、「優秀活動賞」の選考を行わなかったことから、ゆうちょ財団が運営している「相談会」の相談員の方に活動報告をしていただきました。



開会あいさつ 小笠原理事長

ひとり親世帯を対象にした相談会【ひとり親世帯向け子の教育費等に係る家計相談】相談員の中島智美さまからは、

① ひとり親が抱える課題

子供の急な病気、正規雇用の壁、学費の捻出、住居の確保等

② アドバイスのポイント

「寄り添い型の支援」でのサポート

③ 利用できる制度

手当（児童扶養手当、児童育成手当）、医療（ひとり親家庭等医療費助成制度）、キャリアアップ（自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金制度）

について、相談事例を踏まえて説明をしていただきました。



中島智美さま

障がいのある子を持つ保護者を対象にした相談会【障がいのある子の「親なきあと」に備える無料相談会】相談員の渡部伸さまからは、

① 障がい者を取り巻く環境

障がい者の実数：全国民の 7.7%（身体：436.0 万、知的：109.4 万、精神：419.3 万）

② 「親なきあと」相談室の活動状況

全国 96 か所

相談員の出身母体：福祉職、ファイナンス業務、家族会、住職等

③ ゆうちょ財団の「相談会」における相談事例

頻度：2～3 回/月：1～4 件/1 回

2022 年度（9 月末時点）は 53 名

対象：i：子が学齢期、ii：子が 20 代（親は現役）、

iii：子が一人暮らしで就労、iv：親が高齢等



渡部伸さま

④ アドバイスのポイント

住まい、本人希望、定期的収入の確保、地域社会との共生について、相談事例を踏まえて説明をしていただきました。

特別講演として、家計改善支援員の中森順子さまからは、「生活困窮者支援活動の実施報告」と題して

① 家計改善支援事業の3つの取り組み

i : 相談（場所、方法、時間）

ii : 広報（集客、啓発）

III : 援助（ツール作成、後方支援）

② 家計改善支援事業のステップ

Step 1 【問題改善の支援】

家計状況の理解（現状）→給付制度の利用、滞納の解消
→債務整理→貸付のあっせん

Step 2 【家計管理の支援】

家計状況の理解（問題解決後）→自ら家計の管理

③ 活動の課題

支援者同士の連携、行動分析（強化の原理、行動コストの原理、時間の原理）について、説明をしていただきました。



中森順子さま

第1部ではこのほか、財団より2011年度～2022年度の金融相談等活動助成事業報告及び「2023年度 金融相談等活動助成募集要項」の説明を行いました。

引き続いての第2部の「交流会」では、各団体が意見や情報の交換などを行う場面が多く見られ、有意義な時間となり盛会裏に終了しました。

2023年度活動助成の募集締切りは、2022年12月5日（消印有効）となっています。来年度も、多くの有意義な活動を期待しています。【当財団HPに要項等を掲載しています。】